

親子で楽しむ STEAM教室

いろいろなブロックを組み合わせて、オリジナルのゴム動力で走る車をつくろう！ 最後はみんなでレースに挑戦！

子育て通信

【冬季号】
令和7年
1月発行
(季刊)

小学1～3年生

親子で

日曜開催

参加無料

3/9 (日)



画像提供：東京学芸大こども未来研究所

午前の部 10:00～12:00

午後の部 14:00～16:00

対象：区内在住・在学の小学校1～3年生とその保護者
(2人1組)

参加費：無料

講師：大谷 忠 氏

(東京学芸大学大学院 教授／東京学芸大こども未来研究所 理事長)

定員：【午前】30組60人

※各回とも、希望者多数の場合は抽選

【午後】30組60人

会場：墨田区役所13階131会議室

持ち物：筆記用具、飲み物

※ 活動中の様子について写真や動画撮影を行い、次年度の募集案内のため、区ホームページへの掲載や受託事業者の広報活動等で利用する場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

参加申込み ～2月1日(土)から～

- ▶ QRコードから申込み または
- ▶ 以下の《必要事項》を記載の上、メールで申込み。

(メールを送信した際は、到着確認のため必ず下記担当まで、電話連絡をお願いいたします。)

《必要事項》

- ① お子様と保護者の氏名・ふりがな
- ② お子様の学年
- ③ 住所・連絡先(電話/メールアドレス)
- ④ 参加を希望する回(どちらか1回のみ)

お申し込みはこちら! ▼

応募〆切

2/13(木)



問合せ・申込み先

墨田区教育委員会事務局 地域教育支援課 TEL03-5608-6503 ✉CHIHIKIKYOUIKU@city.sumida.lg.jp
〒130-8640 墨田区吾妻橋1-23-20(墨田区役所11階)

「親子でレッツ・STEAMチャレンジ！」

原口 るみ

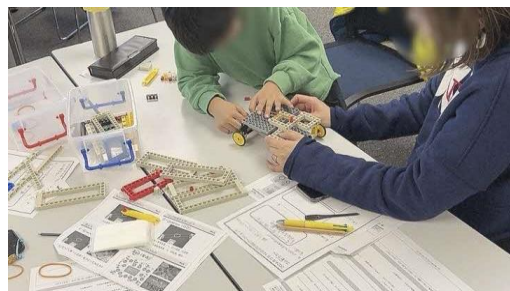
東京学芸大学大学院 准教授
東京学芸大こども未来研究所 理事

子どもたちに1番伝えたいこと、それは「**みんなは、社会を変える力を持っている！**」ということです。これからの時代を生きる子どもたちには新たな価値を生み出す力が求められている、という話を耳になさったことがあるかもしれません。そんな話を聞くと、なんだかとても難しいことのように感じてしまうでしょう。でも、大丈夫！子どもたちは、もうすでに、日々、新たな価値を生み出しているのですから。

たとえば、特定非営利活動法人東京学芸大こども未来研究所の**STEAMワークショップ「ゴム動力カーを作ろう！」**は子どもたちの「こんな〇〇だったらいいな」という思いを引き出すところ（**A**：芸術・教養）からスタートします。「速く走る車がいい！」、「家族みんなで乗れる大きな車がいい！」など、ありたい姿は一人ひとり違います。そんなそれぞれの思いを大切にしつつ、「目的地まで走れる車」であることも両立できるようにするにはどうしたらよいかを子どもたちと一緒に考えていきます。すると、車にはどんな仕組みが必要なのか？（**T**：技術）、動力源として使いたいゴムにはどんな性質があるのか？（**S**：科学）、

ゴムを何回巻き取ったら何メートル進んだのか？（**M**：数学）など、いろいろな視点で考え、作っては試し、作っては試し…と試行錯誤（**E**：エンジニアリング）が始まります。大人は「知っている正解」の枠の中から答えを与えるのではなく、子どもたちの思いに寄り添って「どうしたら〇〇できるかな？」などと問いで導いていきます。

私たちの生活や社会をより良くしてきたのは、最初から世紀の大発明を目指したものばかりではありません。むしろ、「人も空を飛べたらいいな」や「目が見えなくても本が読めたらいいな」といった一人ひとりの思いが、飛行機や点字などを生み出し、その結果、世界を変えてきました。まずは身近なところから、「こんな〇〇だったらいいな」を目指して自分たちが手に負える範囲のチャレンジを重ねていくのが、**STEAM教育**※です。みなさんも、親子で一緒に「**STEAMチャレンジ**」してみませんか？



※**S**cience（科学）、**T**echnology（技術）、**E**ngineering（エンジニアリング）、**A**rts（芸術・教養）、**M**athematics（算数・数学）の頭文字を取った**STEAM教育**では、様々な教科で学んだことを総合的に活用して、新しい価値を生み出す力を育てることをめざしています。